

ZENworks Adaptive Agent ガイド

Novell® ZENworks 10 Configuration Management

10.1

2008 年 8 月 1 日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認して、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認して、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、「[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/)」の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2008 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を無断で複製、写真複写、検索システムへの登録、転載することは、その形態を問わず禁止します。

米国 Novell, Inc. は、本文書に記載されている製品に統合されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、「[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/)」の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell Documentation の Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。

目次

このガイドについて	9
1 概要	11
2 ステータス	13
2.1 エージェントのステータスの表示	13
2.2 キーとの登録	13
3 ポリシー	15
3.1 ユーザ割り当てポリシーとデバイス割り当てポリシー	15
3.2 ポリシーの表示	15
4 バンドル	17
4.1 バンドルとアプリケーション	17
4.2 ユーザ割り当てバンドルとデバイス割り当てバンドル	17
4.3 バンドルへのアクセス	17
4.3.1 ZENworks Window	18
4.3.2 ZENworks Explorer	18
4.3.3 ZENworks アイコン	19
4.4 バンドルアイコンの理解	21
4.5 バンドルの起動	21
4.6 バンドルダウンロードの延期	22
4.7 バンドルの検証	22
4.8 バンドルのプロパティの表示	22
4.9 バンドルのアンインストール	23
5 インベントリ	25
5.1 インベントリ情報の使用目的	25
5.2 デバイスのスキャン	25
5.3 インベントリ情報の表示	25
5.4 コレクションデータフォームの完了	26
6 リモート管理	27
6.1 リモート管理操作	27
6.2 リモート管理セッションの要求	27
6.3 現在接続済みのリモート操作の表示	28
6.4 リモート管理ポリシーの表示	28
6.5 セキュリティ設定の使用	28
7 ロギング	31
7.1 ロギング重要度レベルの変更	31
7.2 ローカルログファイルの表示	31

8	サテライトの役割	33
8.1	一般的なサテライトの役割情報	33
8.2	コレクション	34
8.3	コンテンツ	35
8.3.1	配布元情報の表示	35
8.3.2	最近のアクセス履歴のエクスポート	36
8.3.3	最近のアクセス履歴の消去	36
8.4	イメージング	37
9	ZENworks 用語集	39
10	コンテキスト依存トピック	41
10.1	ステータス	41
10.1.1	ZENworks Adaptive Agent プロパティ	41
10.1.2	ZENworks Serve プロパティ	42
10.1.3	登録キー	42
10.1.4	エージェントステータス	42
10.1.5	追加情報	42
10.2	ポリシー	42
10.2.1	ユーザ割り当てポリシー	43
10.2.2	デバイス割り当てポリシー	43
10.2.3	追加情報	43
10.3	バンドル	43
10.3.1	ユーザ割り当てバンドル	43
10.3.2	デバイス割り当てバンドル	44
10.3.3	追加情報	44
10.4	インベントリ	44
10.4.1	スキャンスケジュール	44
10.4.2	今すぐスキャン	44
10.4.3	次のスキャン	44
10.4.4	前回のスキャン	45
10.4.5	前回のアップロード	45
10.4.6	インベントリサマリ	45
10.4.7	インベントリ詳細を表示	45
10.4.8	追加情報	45
10.5	ロギング	45
10.5.1	メッセージログ	45
10.5.2	ログコレクションサーバ	46
10.5.3	追加情報	46
10.6	リモート管理 - セキュリティ	46
10.6.1	パスワードの設定	47
10.6.2	[パスワードをクリア]	47
10.6.3	侵入者検出によって現在ブロックされている場合は、接続の受諾を許可します	47
10.6.4	監査情報の表示	47
10.6.5	指紋の表示	48
10.6.6	追加情報	48
10.7	リモート管理 - 一般	48
10.7.1	ステータス	48
10.7.2	バージョン	48
10.7.3	最適化	48
10.7.4	リモート管理セッションの要求	48
10.7.5	接続されているリモートオペレータのリスト	48
10.7.6	追加情報	48
10.8	リモート管理 - ポリシー	49

10.9	バンドルプロパティ	49
10.9.1	一般	49
10.9.2	ステータス	49
10.9.3	ヘルプ連絡先	50
10.9.4	システム要件	50
10.9.5	タイムスケジュール	51
10.9.6	追加情報	51
10.10	サテライト - 一般	51
10.10.1	現在のステータス	51
10.10.2	ポート	51
10.10.3	コンテンツレプリケーションスケジュール	52
10.10.4	サテライトの役割ステータス	52
10.11	サテライト - コレクションの役割プロパティ	52
10.11.1	現在のステータス	52
10.11.2	親の URL	52
10.11.3	コレクションスケジュール	52
10.12	サテライト - コンテンツの役割プロパティ	52
10.12.1	現在のステータス	53
10.12.2	ポート	53
10.12.3	リポジトリファイル数	53
10.12.4	リポジトリサイズ	53
10.12.5	固有のデバイスアクセス	53
10.12.6	[サブされるファイル数]	53
10.12.7	[サブされるデータのサイズ]	53
10.12.8	エラー数	53
10.12.9	アクション	53
10.12.10	最近のアクセス履歴	54
10.12.11	コンテンツリポジトリ詳細	54
10.12.12	追加情報	54
10.13	サテライト - イメージング	54
10.13.1	現在のステータス	54
10.13.2	PXE サービスステータス	54
10.13.3	イメージファイルの表示	54
10.13.4	イメージング統計	55

このガイドについて

このガイドでは、Novell ZENworks 10 Configuration Management のコンポーネントである Novell® ZENworks® Adaptive Agent について説明します。ZENworks とその他の Novell 製品の詳細は、[www.novell.com \(http://www.novell.com/products/zenworks\)](http://www.novell.com/products/zenworks) を参照してください。

このガイドの情報は、以下のように構成されます。

- ◆ 11 ページの第 1 章「概要」
- ◆ 13 ページの第 2 章「ステータス」
- ◆ 15 ページの第 3 章「ポリシー」
- ◆ 17 ページの第 4 章「バンドル」
- ◆ 25 ページの第 5 章「インベントリ」
- ◆ 27 ページの第 6 章「リモート管理」
- ◆ 31 ページの第 7 章「ロギング」
- ◆ 33 ページの第 8 章「サテライトの役割」
- ◆ 39 ページの第 9 章「ZENworks 用語集」
- ◆ 41 ページの第 10 章「コンテキスト依存トピック」

対象読者

このガイドは、ZENworks 10 Configuration Management のエンドユーザ (デバイス上で ZENworks Adaptive Agent を使用しているユーザ) 向けに作成されています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか www.novell.com/documentation/feedback.html にアクセスしてコメントを記入してください。

追加のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。追加のマニュアルについては、『[ZENworks 10 Configuration Management with SP1 \(v10.1\) \(http://www.novell.com/documentation/zcm10/index.html\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10/index.html)』を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (\\) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux、UNIX など、スラッシュを使う必要があるプラットフォームを使用しているユーザは、必要に応じてスラッシュを使用してください。

概要

1

ZENworks[®] Adaptive Agent は、管理者がネットワークを介して**デバイス**を管理するための Novell[®] ZENworks Configuration Management ソフトウェアの一部です。ZENworks Adaptive Agent は通常は Adaptive Agent と呼ばれ、管理者がデバイスのある場所まで出向かずに次のようなことを実行できるよう支援します。


- ◆ ソフトウェア、パッチ、その他のファイルをデバイスに配信する
- ◆ デバイスの行動を決定するポリシーを管理する
- ◆ デバイスのハードウェアとソフトウェアのインベントリを取得する
- ◆ リモートの場所からデバイスにアクセスしてトラブルシューティングし、ハードウェアとソフトウェアの問題を修復する

各サービスは、Adaptive Agent のプラグインモジュールを使用することで提供されます。Adaptive Agent に含まれるデフォルトモジュールには、「バンドル」モジュール、「ポリシー」モジュール、「インベントリ」モジュール、「リモート管理」モジュール、および「配布元」モジュールがあります。管理者が実装しているサービスによっては、これらのモジュールの 1 つまたは複数のモジュールが、デバイス上でアクティブではないことがあります。たとえば、管理者がリモートでワークステーションにアクセスしない場合、「リモート管理」モジュールはインストールされないことがあります。

ステータス

ZENworks® Adaptive Agent には、ZENworks Server に最後に接続した時間や、Agent Module が実行中であるかどうかなどのステータス情報が表示されます。

2.1 エージェントのステータスの表示


- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[ステータス] をクリックします。

[ステータス] フィールド	説明
デバイスアドレス	デバイス の IP アドレスです。
デバイス名	デバイスのコンピュータ名。
デバイス状態	デバイスの状態：管理対象、非管理対象、リタイヤ、または不明の状態。不明は、エラーがある場合のみ表示されます。
前回のサーバとの接続	Adaptive Agent が、[サーバDNS] フィールドに一覧されている ZENworks Server サーバに前回接続した時間です。
次回のサーバとの接続	Adaptive Agent が次に ZENworks Server に接続するようにスケジュールされている時間です。
[プライマリユーザ]	デバイスを最も頻繁に使用するユーザです。頻度は、ログインの数、ログインしている時間数、または指定されているユーザによって決定されます。プライマリユーザの計算に使用する方法は管理者が決定します。
ZENworks Adaptive Agent バージョン	ZENworks Adaptive Agent のバージョンです。
[管理ゾーン]	デバイスがある場所の ZENworks® 管理ゾーンの名前です。
サーバDNS	デバイスの Adaptive Agent が ZENworks のコンテンツと情報を送受信するために通信する ZENworks Server の DNS 名。
サーバアドレス	[サーバDNS] フィールドに一覧表示される ZENworks Server の IP アドレスです。
[登録キー]	デバイスを管理ゾーンに登録する際に入力する英数文字列です。登録キーは管理者が定義し、バンドルとポリシーの割り当てを判断するのに役立ちます。
エージェントステータス	Agent モジュールのステータスです。

2.2 キーとの登録

デバイスは、ZENworks® Configuration Management で管理するために、管理ゾーン内に登録する必要があります。このプロセスを容易にするために、管理者は登録キーを作成できます。登録キーは、そのキーに関連付けられたバンドルおよびポリシーが自動的に割り当てられるように、デバイスの登録中に、ZENworks Adaptive Agent にオプションで入力する英数字の文字列です。

管理者は、キーをユーザに与え、ユーザのデバイスを登録 (または再登録) するように依頼することができます。手順は次のとおりです。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[ステータス] をクリックします。
- 3 [登録キー] フィールドで、登録キーを入力してから、[登録] をクリックします。

Adaptive Agent は、入力したキーを使用してデバイスを登録します。

登録キーは累積されます。つまり、複数のキーと一緒に登録すると、デバイスはその個々のキーと関連付けられたバンドルおよびポリシーを受信します。登録に使用される各キーは、将来参照するためにリストに追加されます。

ZENworks® Adaptive Agent は、管理者が定義するポリシーを適用します。ポリシーは、ハードウェアとソフトウェアの設定範囲を制御するルールです。たとえば、管理者は、使用できる機能、ブラウザで使用可能なブックマーク、アクセスできるプリンタ、および**デバイス**のセキュリティとシステム設定を制御するポリシーを作成できます。

管理者によって適用されたポリシーをユーザが変更することはできませんが、ユーザ割り当てポリシーとデバイス割り当てポリシーの違い、および適用されているポリシーの確認方法を理解しておく役立ちます。

3.1 ユーザ割り当てポリシーとデバイス割り当てポリシー

ポリシーは、ユーザに割り当てられるか、ユーザの**デバイス**に割り当てられます。ユーザに割り当てられるポリシーは、ユーザ割り当てポリシーと呼ばれ、デバイスに割り当てられたポリシーは、デバイス割り当てポリシーと呼ばれます。

ZENworks® Adaptive Agent は、ユーザディレクトリ (Microsoft* Active Directory* または Novell® eDirectory™) にログインしている場合にのみ、ユーザ割り当てポリシーを適用します。ログインしていない場合は、ZENworks Configuration Management ログイン画面でログインできます。ログインするには、通知領域にある**Z**アイコンを右クリックしてから、[ログイン] をクリックします。

Adaptive Agent は、ログインしているかどうかにかかわらず常にデバイス割り当てポリシーを適用します。したがって、デバイス割り当てポリシーはデバイスのすべてのユーザに適用されます。

3.2 ポリシーの表示

ユーザおよびデバイスに割り当てられたポリシーを削除する

- 1 通知領域にある**Z**アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[ポリシー] をクリックします。

バンドル

ソフトウェアアプリケーションとその他のファイルは、バンドルとして**デバイス**に配布されます。バンドルには、デバイスにソフトウェアをインストールするために必要なすべてのコンテンツ (ファイルなど) および指示 (レジストリ変更、ショートカット情報など) が含まれます。


4.1 バンドルとアプリケーション

バンドルは、**デバイス**にすでにある Windows* メモ帳などの標準アプリケーションとは異なります。バンドルをダブルクリックして起動すると、ZENworks® Adaptive Agent は、アプリケーションの起動前に、さまざまな配布タスクを完了します。タスクには、アプリケーションファイルのインストール、スクリプトの実行、デバイスのレジストリファイル、特定の INI ファイル、または環境変数の変更などがあります。これらのタスクは、デバイス上でアプリケーションが正常に動作するようにすべて管理者によって設定されます。

バンドルのアイコンが淡色表示またはグレー表示になることがあります。これは、管理者がアプリケーションに定義した要件をデバイスが満たしていないか、バンドルがその時点で使用可能のようにスケジュールされていないことを示します。Adaptive Agent は、要件が満たされるか、スケジュールが適切になるまでは、アプリケーションをデバイスに配布しません。

4.2 ユーザ割り当てバンドルとデバイス割り当てバンドル

デバイスに表示されるバンドルは、ユーザに割り当てられるか、ユーザのデバイスに割り当てられます。ユーザに割り当てられるバンドルは、ユーザ割り当てバンドルと呼ばれ、デバイスに割り当てられたバンドルは、デバイス割り当てバンドルと呼ばれます。

Zenworks® Adaptive Agent は、ユーザディレクトリ (Microsoft* Active Directory* または Novell® eDirectory™) にログインしている場合にのみ、ユーザ割り当てバンドルを表示します。ログインしていない場合は、ZENworks Configuration Management ログイン画面でログインできます。ログインするには、通知領域にある  アイコンを右クリックしてから、[ログイン] をクリックします。

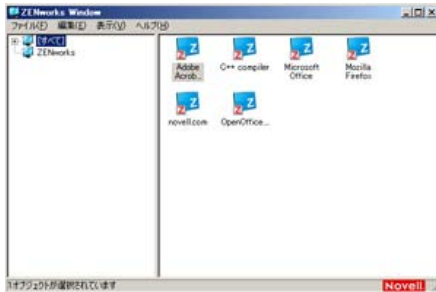
デバイス割り当てバンドルは、ログインしているかどうかにかかわらず常に表示されます。デバイス割り当てバンドルは、デバイスを使用するユーザなら誰でも起動できます。

4.3 バンドルへのアクセス

ZENworks® Adaptive Agent では、割り当てられているバンドルにアクセスするための ZENworks Window、ZENworks Explorer、および ZENworks Icon という 3 つの方法を提供しています。

4.3.1 ZENworks Window

ZENworks Window は、スタンドアロンウィンドウで、[スタート] メニューから起動できます ([スタート] メニュー > [プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Window])。



[ZENworks ウィンドウ] の左ペインには、次の項目が表示されます。

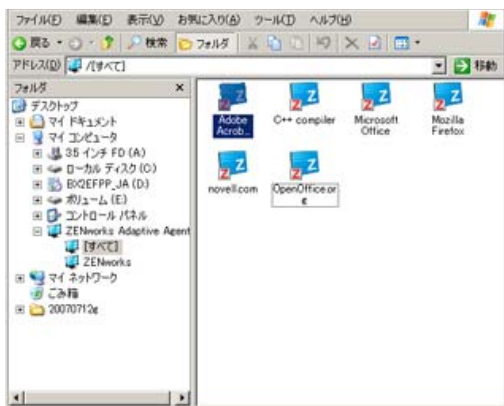
- ◆ **[すべて] フォルダ**: バンドルが配置されているフォルダにかかわらず、配布されているバンドルすべてが表示されます。
- ◆ **[ZENworks] フォルダ**: 別のフォルダに割り当てられていないバンドルすべてが表示されます。バンドルのデフォルトフォルダは [ZENworks] フォルダです。ただし、管理者はバンドルを整理するために追加フォルダを作成したり、ZENworks フォルダを名前変更したりすることもできます。
- ◆ **[パーソナル] フォルダ**: アプリケーションを整理するためのパーソナルフォルダを作成するスペースを提供します。これは、管理者が制御する機能です。デフォルトでは、この機能は無効になっています。つまり、このフォルダは表示されません。

左ペインでフォルダを選択すると、右ペインにフォルダ内に含まれるバンドルが表示されます。以下の操作を行うことができます。

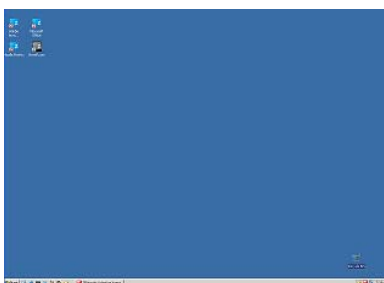
- ◆ バンドルをインストールするか、すでにインストールされているバンドルのアプリケーションを起動する。
- ◆ バンドルのプロパティを表示する。プロパティには、バンドルの説明、バンドルのヘルプ担当者についての情報、バンドルを使用できる時間、バンドルに設定されたシステム要件などが含まれます。
- ◆ インストールしたアプリケーションを修復する。
- ◆ アプリケーションをアンインストールする。これは管理者が制御する機能で、有効になっていない場合もあります。

4.3.2 ZENworks Explorer

ZENworks Explorer は、Windows* エクスプローラ用の拡張機能で、Windows エクスプローラ、デスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、および通知領域にバンドルを表示できるようになります。次の図は、Windows エクスプローラに表示されるバンドルを示しています。




次の図は、デスクトップに表示されるバンドルを示しています。



ZENworks Explorer でも、[ZENworks ウィンドウ] と同じタスクをバンドルに対して実行できます。

4.3.3 ZENworks アイコン


ZENworks アイコンは、Windows 通知領域にあります。アイコンをダブルクリックすると、ZENworks Adaptive Agent のプロパティを表示できます。左のナビゲーションペインにある [バンドル] リンクをクリックすると、ユーザおよびユーザの**デバイス**に割り当てられたバンドルを表示できます。



バンドルリストには、次の情報が表示されます。



- **[名前]** : バンドルの名前が表示されます。名前をクリックすると、バージョン、フォルダ、アイコンの場所、およびヘルプ連絡先、およびタイムスケジュールなどのバンドルのプロパティを表示できます。ZENworks コントロールセンターにおけるバンドルについてのスケジュールの環境設定に基づき、タイムスケジュールは次のようになります。

TimeSchedule	詳細
スケジュールなし / デフォルト	スケジュールはバンドルに環境設定されません
特定のイベント	ユーザログイン、ユーザログアウト、またはデバイスのブートなど、特定のイベントがトリガされる場合、スケジュールされたアクションを実行します
相対	デバイスがリフレッシュされる時から、指定の日数、時間、分に対してスケジュールされたアクションを実行します
毎日	指定時間にスケジュールされたアクションを毎日実行します
週	指定の曜日にスケジュールされたアクションを実行します
月	月の指定の日にスケジュールされたアクションを実行します
年	年の指定の日にスケジュールされたアクションを実行します
特定の日付と時刻	スケジュールされたアクションを指定された日時に 1 回実行します
特定の時間間隔	開始時刻から、xxxヶ月、週間、日、時間、または分、あるいはそのいくつかの間隔でスケジュールされたアクションを繰り返し実行します
リフレッシュ時	デバイスのリフレッシュ時にスケジュールされたアクションを実行します
常時	スケジュールされたアクションは常時アクティブです
特定の日付	特定の日付にスケジュールされたアクションを実行します
曜日の範囲	特定の時間間隔でスケジュールされたアクションを実行します

- **[ステータス]** : バンドルのインストールステータスが表示されます。
- **[有効]** : バンドルがデバイスで使えるかどうかを表示します。[有効] ボックスがオンになっている場合、バンドルはすべてのシステム要件と使用されるスケジュール制約を満たしています。バンドルアイコンをクリックして、バンドルを起動できます。

このボックスが選択されていない場合、バンドルは使用できません。理由を確認するには、バンドル名をクリックして、システム要件とスケジュールのプロパティを表示します。

4.4 バンドルアイコンの理解

バンドルアイコンは、バンドルの現在のステータスを反映して変更されます。以下の表は、デフォルトのライトブルーのバックグラウンドアイコンを使用するバンドルアイコンを示しています。管理者が異なるバックグラウンドアイコンを使用することを選択する可能性もありますが、およびなどのステータスアイコンは同じです。

アイコン	ステータス
------	-------



使用可能。バンドルを起動できます。



使用不可。バンドルを起動できません。**デバイス**がバンドルに設定されたシステム要件を満たしていないか、バンドルが現在使用できるようにスケジュールされていません。



ダウンロード中。バンドルが保存されているネットワークの場所からバンドルをダウンロード中です。



インストール中。バンドルをデバイスにインストール中です。



稼動中。バンドルは現在稼働中です。



アンインストール中。バンドルをデバイスから削除中です。



インストールされていません。バンドルをインストールできませんでした。アイコンを右クリックして、**[検証]** をクリックしてバンドルを修復します。


4.5 バンドルの起動


デフォルトでは、ZENworks[®] Adaptive Agent は、最初にバンドルを起動するまで、バンドルを**デバイス**に配布 (ダウンロードおよびインストール) しません。配布プロセスには、バンドルのファイルのインストール、スクリプトの実行、デバイスのレジストリ、特定の INI ファイル、または環境変数の変更が含まれることがあります。また、ローカルデバイスやネットワークサーバ上にアプリケーションの実行可能ファイルへのショートカットが作成されるだけの場合もあります。

バンドルを起動する

- 1 次の場所のいずれかにあるバンドルにアクセスします。

[ZENworks Window] : [スタート] メニューから、[プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks ウィンドウ] の順にクリックします。

[ZENworks Explorer] : Windows* エクスプローラを開き、 ZENworks Adaptive Agent エントリを探します。ZENworks 管理者のバンドル設定方法によっては、バンドルアイコンはデスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、または通知領域にも表示されます。

ZENworks アイコン : 通知領域で、 アイコンをダブルクリックしてから、[バンドル] をクリックします。

- 2 バンドルアイコンをダブルクリックします。


4.6 バンドルダウンロードの延期

バンドルの起動後に、ダウンロードが始まってからダウンロードを停止する必要がある場合は、ダウンロードを後に延期できます。ダウンロードを再開する場合は、以前に停止した時点から続行されます。

バンドルダウンロードを延期する

- 1 次の場所のいずれかにあるバンドルにアクセスします。

[ZENworks Window] : [スタート] メニューから、[プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks ウィンドウ] の順にクリックします。

[ZENworks Explorer] : Windows エクスプローラを開き、 ZENworks® Adaptive Agent エントリを探します。ZENworks 管理者のバンドル設定方法によっては、バンドルアイコンはデスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、または通知領域にも表示されます。

- 2 バンドルアイコンを右クリックして、[延期] をクリックします。


4.7 バンドルの検証

インストール済みアプリケーションが正常に機能していないか、最新の状態でないと思われる場合は、アプリケーションのバンドル情報が正しいかどうかを検証できます。正しくない場合は、ZENworks Adaptive Agent はバンドルをワークステーションに再インストールします。

バンドルを検証する

- 1 次の場所のいずれかにあるバンドルにアクセスします。

[ZENworks Window] : [スタート] メニューから、[プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks ウィンドウ] の順にクリックします。

[ZENworks Explorer] : Windows* エクスプローラを開き、 ZENworks® Adaptive Agent エントリを探します。ZENworks 管理者のバンドル設定方法によっては、バンドルアイコンはデスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、または通知領域にも表示されます。

- 2 バンドルアイコンを右クリックして、[検証] をクリックします。


4.8 バンドルのプロパティの表示

バンドルのプロパティを表示して、バージョン番号、現在のインストール状態、およびヘルプ連絡先を確認できます。さらに、バンドルが使用できない場合は、システム要件またはスケジュール制約が原因で使用できないかどうかを確認できます。

バンドルのプロパティを表示する

- 1 次の場所のいずれかにあるバンドルにアクセスします。

[ZENworks Window] : [スタート] メニューから、[プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks ウィンドウ] の順にクリックします。

[ZENworks Explorer] : Windows* エクスプローラを開き、 ZENworks® Adaptive Agent エントリを探します。ZENworks 管理者のバンドル設定方法によっては、バンドルアイコンはデスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、または通知領域にも表示されます。

- 2 バンドルアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。

4.9 バンドルのアンインストール

アンインストールは、管理者が制御する機能です。デフォルトでは、アンインストールは有効になっていません。したがって、ユーザがバンドルをアンインストールできるのは、管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。アンインストールはバンドル単位ベースで有効になります。管理者が有効にしている設定に応じて、アンインストールできるバンドルとアンインストールできないバンドルがあります。


バンドルをアンインストールすると、ZENworks® Adaptive Agent はデバイスからすべてのファイルを削除し、バンドルのインストール中にデバイスに行った設定すべてを元に戻します。削除されるのは、Adaptive Agent によってそのバンドル専用インストールされたファイルのみです。たとえば、共有ファイル (別のアプリケーションも使用しているファイル) またはユーザが作成したファイル (ワープロ文書やスプレッドシートなど) は削除されません。

バンドルをアンインストールした後も、バンドルのアイコンはデバイスに表示されたままです。このアイコンを使って、必要に応じてバンドルを再インストールすることができます。

バンドルをアンインストールする

- 1 次の場所のいずれかにあるバンドルにアクセスします。

[ZENworks Window] : [スタート] メニューから、[プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks ウィンドウ] の順にクリックします。

[ZENworks Explorer] : Windows* エクスプローラを開き、 ZENworks® Adaptive Agent エントリを探します。ZENworks 管理者のバンドル設定方法によっては、バンドルアイコンはデスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、または通知領域にも表示されます。

- 2 バンドルアイコンを右クリックして、[アンインストール] をクリックします。

インベントリ

ZENworks® Adaptive Agent によって、ソフトウェアとハードウェアの情報について**デバイス**がスキャンされます。この情報は、ユーザおよびユーザの管理者のどちらも参照可能です。

5.1 インベントリ情報の使用目的

デバイスから取得されたソフトウェアとハードウェアのインベントリは、さまざまな方法で使用できます。たとえば、管理者がハードウェア情報を使用して、ユーザが必要なデバイスがシステム要件を満たしているかどうかを確認できます。または、このソフトウェア情報を使って、企業のソフトウェア標準への遵守を検証することもできます。


インベントリ情報を使用すると、アセットタグ番号、IP アドレス、合計メモリ、およびディスク空き容量などのデバイスの詳細を素早く検索できます。ハードドライブ、ディスクドライブ、ビデオカードの製造元やモデルなどのハードウェアの詳細を表示できます。また、インストール済み Windows* ホットフィックスとパッチ、およびインストール済みソフトウェア製品のバージョン番号と場所などのソフトウェアの詳細も表示できます。

5.2 デバイスのスキャン

管理者がインベントリスキャンスケジュールを無効にしていない限り、ZENworks® Adaptive Agent は**デバイス**に対して定期的にインベントリスキャンを実行します。スケジュールを決定するのは管理者です。デフォルトのスケジュールは、毎月初日です。

また、管理者がユーザによるインベントリスキャン機能を無効にしていなければ、ユーザもデバイスに対してインベントリスキャンを開始できます。

スキャンを開始する


- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[インベントリ] をクリックします。
- 3 [今からスキャンします] をクリックします。

スキャンが実行中であることを示すインジケータのようなものは表示されません。ただし、[インベントリ] ページを更新するとき、[最後にスキャンした日付] フィールドに現在の日時が表示された場合、スキャンが実行されたということがわかります。[インベントリ詳細の表示] をクリックして、スキャンの結果を確認できます。

5.3 インベントリ情報の表示


インベントリ情報を使用して、アセットタグ番号、IP アドレス、合計メモリ、およびディスク空き容量などの**デバイス**の詳細を素早く検索できます。ハードドライブ、ディスクドライブ、ビデオカードの製造元やモデルなどのハードウェア詳細を表示できます。また、インストール済み Windows* ホットフィックスとパッチ、およびインストール済みソフトウェア製品の場所とバージョン番号など、ソフトウェア詳細も表示できます。

インベントリ情報を表示する

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[インベントリ] をクリックします。
- 3 [インベントリ詳細の表示] をクリックします。

5.4 コレクションデータフォームの完了

デバイスのスケジュール定期スキャンに加えて、管理者は、コレクションデータフォームを作成して、追加情報をユーザから収集できます。データフォームで要求する情報は、管理者が決定します。

コレクションデータフォームは、デスクトップ上のダイアログボックスとして表示され、フォームを送信するまで表示されたままになります。さらに、管理者は、通知領域で  アイコンを右クリックするとオプションとしてフォームが表示されるように ZENworks[®] Adaptive Agent を設定することもできます。この場合は、オプションは送信後も表示されたままになります。このオプションを使用して、要求された情報が変更された場合にフォームを再送信できます。

リモート管理

ZENworks® Adaptive Agent では、リモートの場所から **デバイス** を管理できます。これによって、管理者またはヘルプデスク担当者は、デバイスにリモートでアクセスまたは制御して、デバイスの問題を解決できます。

6.1 リモート管理操作

ZENworks® Adaptive Agent は、以下のリモート管理操作をサポートします。

- **[リモートコントロール]**: リモートオペレータ (管理者またはヘルプデスクオペレータなど) が **デバイス** を制御できるようにします。
- **[リモートビュー]**: リモートオペレータがデバイスを表示できるようにします。これは表示専用モードです。オペレータは、デバイスに対していかなる操作もできません。
- **[リモート診断]**: リモートオペレータが、診断のために特定の管理ツール (レジストリエディタ、コンピュータ管理、サービスなど) を実行できるようにします。
- **[ファイル転送]**: リモートオペレータが、デバイスとの間でファイルを転送できるようにします。
- **[リモート実行]**: リモートオペレータがデバイスで実行可能ファイルを実行できるようにします。

デバイスに対して実行できる操作は、管理者が有効にしている操作によって異なります。使用可能な操作を表示する方法の詳細については、**リモート管理ポリシーの表示**を参照してください。

6.2 リモート管理セッションの要求

状況によっては、リモートオペレータによるリモート管理セッションを要求する場合や、リモートオペレータからセッションの開始を要求される場合があります。

セッションを要求するには次の手順に従います。

- 1 通知領域にある **Z** アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、**[リモート管理]** 見出しを探して、**[一般]** をクリックします。
- 3 **[リモート管理セッションの要求]** をクリックして、**[セッションの要求]** ダイアログボックスを表示します。

状況によっては、リモートオペレータによるリモート管理セッションを要求する場合や、リモートオペレータからセッションの開始を要求される場合があります。**[リモート管理セッションの要求]** オプションがリンクテキストとして表示されない場合、オプションは無効です。

- 4 **[リモート操作のリスニング]** リストで、リモートオペレータを選択してリモートセッションを開きます。

または

求めるリモートオペレータが表示されていない場合、[接続要求] フィールドにオペレータの接続情報を入力します。

- 5 [操作] フィールドで、開く操作のタイプ (リモートコントロール、リモートビュー、リモート診断、ファイル転送、またはリモート実行) を選択します。各操作の詳細については、**リモート管理操作**を参照してください。
- 6 [要求] をクリックして、セッションを起動します。

6.3 現在接続済みのリモート操作の表示

- 1 通知領域にある **Z** アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[リモート管理] 見出しを探して、[一般] をクリックします。
- 3 [接続されたリモートオペレータのリスト] をクリックして、[オペレータの要求] ダイアログボックスを表示します。

接続済みリモートオペレータを表示する機能は、管理者が制御しています。[接続されたリモートオペレータのリスト] オプションがリンクテキストとして表示されない場合、オプションは無効です。

6.4 リモート管理ポリシーの表示

デバイスで有効なリモート管理操作、およびその操作に適用される設定は、管理者がリモート管理ポリシーを使用して制御します。

ユーザは、ポリシー設定を表示することはできますが、設定を変更することはできません。設定を表示する

- 1 通知領域にある **Z** アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[リモート管理] 見出しを探して [ポリシー] をクリックします。
- 3 [カテゴリ] リストで、[一般]、[リモートコントロール、リモートビュー]、[リモート実行]、[ファイル転送]、[リモート診断]、または [セキュリティ] から、表示するポリシーのカテゴリを選択します。

6.5 セキュリティ設定の使用

リモート管理セキュリティ設定を使用すると、デバイスでリモート操作を実行したり、侵入者が検出されたために一時中断されていた操作を再度有効にしたり、デバイスで実行されたリモート管理操作に関する情報を表示したり、リモート操作に使用された自己署名付きの証明書に関する情報を表示したりするために必要なパスワードを制御できます。

セキュリティ設定は管理者によって制御され、使用できない場合があります。

- 1 通知領域にある **Z** アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[リモート管理] 見出しを探し、[セキュリティ] をクリックします。
- 3 使用するセキュリティ設定をクリックします。

パスワードの設定: パスワードを設定できるのは、[ユーザに管理対象デバイスでのパスワード設定を許可] オプションが管理対象デバイスで有効にされている場合だけです。パスワードは2種類あります。

- ◆ **ZENworks® パスワード:** このパスワードは、ZENworks パスワードベース認証で使用されます。パスワードの長さは最大 255 文字です。
- ◆ **VNC のパスワード:** このパスワードは、VNC パスワードベース認証で使用されます。パスワードの長さは最大 8 文字です。

VNC パスワードベース認証より安全であるため、ZENworks パスワード認証が推奨されます。VNC パスワードベース認証は、オープンソース VNC ビューアとの相互運用性のために使用します。

パスワードのクリア: 選択したパスワードをクリアします。

侵入者検出によって現在ブロックされている場合は、接続の受諾を許可します: リモートオペレータのログインの試みが一定回数 (デフォルトでは 5 回) 失敗した場合、リモート接続は無効になります。一定の時間 (デフォルトでは 10 分) が経過すると接続は自動的に許可されますが、このオプションをクリックして、手動で接続を有効にすることができます。

監査情報の表示: デバイスで実行されたリモート操作に関する次の情報を表示します。

フィールド	説明
ZENworks ユーザ	リモート操作が実行されたときに、ログインしていた ZENworks ユーザの名前です。
リモートオペレータ	操作を実行したリモートオペレータの名前です。
コンソールマシン	リモート操作の実行元デバイスの名前です。
コンソール IP	リモート操作の実行元デバイスの IP アドレスです。
操作	実行された操作のタイプ (リモートコントロール、リモート実行、リモートビュー、リモート診断、ファイル転送、またはセキュリティ) です。
開始時刻	リモート操作の開始時刻です。
終了時刻	リモート操作の終了時刻です。
ステータス	リモート操作のステータス (成功、実行中、または失敗) です。


指紋の表示: デバイスの自己署名付き証明書の指紋を表示します。デバイスでリモート操作を実行する前に、デバイスの資格情報を検証するために、リモートオペレータから指紋を求められることがあります。

デバイスでタスクを実行中に、ZENworks® Adaptive Agent によってメッセージが生成され、アクティビティが追跡されます。各メッセージには、情報、警告、エラー、またはデバッグという重要度レベルが割り当てられます。

7.1 ロギング重要度レベルの変更

デフォルトで、管理者がローカルログファイルに記録する重要度レベルを制御します。[デバイスの管理対象重大度] フィールドでは、記録される有効な重要度レベルが表示されます。この重要度は、ZENworks ゾーン全体、または個々のデバイスに対して設定できます。管理者が**デバイス**に関する ZENworks® Adaptive Agent の問題をトラブルシューティングする必要がある場合は、管理者から、追加情報をログできるように重要度設定を変更するように指示されることがあります。このような指示がない場合は、重要度設定を変更する必要はありません。

重要度レベルを変更するには次の手順に従います。

- 1 システムトレイにある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで [ロギング] をクリックします。
- 3 [重要度が次の場合にメッセージをログ記録:] フィールドで、次のオプションのいずれかを選択します。
 - **管理対象 : level:** ログの重要度レベルを ZENworks ゾーンで管理者によって定義されたレベルに設定します。ここで、*level* は、レベル (情報、警告、エラー、およびデバッグ) を意味します。
 - **エラー:** エラーメッセージのみをログします。エラーメッセージは、Adaptive Agent が要求されたタスクを実行できない場合に生成されます。
 - **警告とそれ以上:** 警告およびエラーメッセージをログします。警告メッセージは、タスクが失敗する可能性のある問題が Adaptive Agent で発生した場合に生成されます。
 - **情報とそれ以上:** 情報、警告、およびエラーメッセージをログします。情報メッセージは、Adaptive Agent が通常タスクを実行する場合に生成されます。
 - **デバッグ:** 使用可能メッセージをすべてログして、問題のデバッグ追跡を有効にします。このレベルを選択すると、ログファイルのサイズが大きく増えるため、管理者の指示があった場合にのみ使用するようにしてください。
- 4 [設定] をクリックして、新しい重要度レベルを適用します。

7.2 ローカルログファイルの表示

ローカルログファイル `zmd-messages.log` は、システムドライブのルートにある `program files\novell\zenworks\logs\localstore` ディレクトリに保存されます (例、`c:\program files\novell\zenworks\logs\local-store\zmd-messages.log`)。このファイルはテキストエディタで表示できます。

ファイル内の各エントリには、複数のフィールドがあります。各フィールドは、[and ends with] で始まります。たとえば、[ERROR] などです。次の表は、各フィールドについて説明しています。

フィールド 番号	例	説明
1	エラー	重要度レベル。発生し得る値は、ERROR、WARNING、INFORMATION、および DEBUG です。
2	3/14/2007 4:21:35 PM	メッセージが生成された日付と時刻。
3	JSmith	ユーザ。
4	PolicyManager	メッセージを生成した Adaptive Agent モジュール。
5	launcher 設定ポリシー	メッセージに割り当てられた ID。
6	PolicyModule: イベントの登録。	メッセージ。
7		追加情報。通常は空です。
8	workstation1	メッセージに関連のあるオブジェクト。

サテライトの役割

サテライトの役割のある管理対象のデバイスは、ZENworks® Primary Server で通常は実行される特定の役割を実行できます。管理対象のデバイス (サーバまたはワークステーション) は、サテライトの役割を実行できます。管理者がデバイスを構成する場合、管理者はデバイスで実行される役割を指定します。サテライトの役割で、ZENworks システムの WAN トラフィックを最小化できます。

サテライトの役割は次のとおりです。

- ◆ **コレクション** : デバイスのグループ用に情報のロールアップアクセスを向上させ、ZENworks データベースをホスティングしている ZENworks プライマリサーバまでトラフィックを最小化するには、ZENworks 管理者はデバイスのコレクションの役割を有効にし、デバイスが収集ポイントかどうかを指定できます。
- ◆ **コンテンツ** : ZENworks Configuration Management は、配布元として指定された ZENworks Server またはその他のデバイスからの、バンドルおよびポリシーの配布をサポートします。デバイスが配布元かどうかは管理者が制御します。
- ◆ **イメージング** : イメージングの役割は、イメージングサービスをインストールし、そのイメージングの役割をデバイスに追加します。この役割では、このデバイスをイメージングサーバとして使用して、イメージを取得し、ユニキャストまたはマルチキャストのイメージングの使用によりサブネット内またはサブネット間でイメージを適用するなど、すべてのイメージングオペレーションを実行できます。管理者が、デバイスにイメージングの役割があるかどうかを制御します。

詳細情報については、以下を参照してください。


- ◆ 33 ページのセクション 8.1 「一般的なサテライトの役割情報」
- ◆ 34 ページのセクション 8.2 「コレクション」
- ◆ 35 ページのセクション 8.3 「コンテンツ」
- ◆ 37 ページのセクション 8.4 「イメージング」

8.1 一般的なサテライトの役割情報

現在のステータス、ポート、コンテンツレプリケーションスケジュール、および役割のステータスなど、デバイスの一般プロパティを表示できます。

ZENworks 管理者がこのデバイスでサテライトの役割が実行されるよう指定した場合、このページの情報によりデバイスの一般情報を表示できますが、このページのフィールドは編集できません。

一般的なサテライトの役割情報を表示するには以下の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[一般] をクリックします。


フィールド	説明
現在のステータス	デバイスが現在、サテライトの役割を実行するように環境設定されているかどうか表示します。
ポート	デバイスが使用中のポートを表示します。
コンテンツレプリケーションスケジュール	デバイスのコンテンツが親のプライマリサーバから更新される頻度を表示します。デフォルトでは、コンテンツ役割デバイスはコンテンツで新しいものまたは削除されたものがないか 5 分ごとに確認します。ZENworks 管理者はこのスケジュールを変更できます。たとえば、ZENworks システムがコンテンツをシステムにあまり頻繁に追加しないか、またはコンテンツ役割デバイスと、親のプライマリサーバ間の接続に時間がかかる場合、管理者はサイクル間の時間を長くすることもできます。
サテライトの役割ステータス	デバイスが実行中の役割 (コレクション、コンテンツ、およびイメージング)、およびその現在のステータス (アクティブまたは停止) を表示します。

8.2 コレクション

現在のステータス、親の URL、およびコレクションスケジュールなど、デバイスのコレクションの役割プロパティを表示できますが、このページのフィールドを編集できません。

ZENworks® 環境設定管理では、ZENworks 管理者はデバイス上のコレクションの役割を有効にできます。これにより、デバイスのグループ用に情報のロールアップアクセスを向上させ、ZENworks データベースをホスティングしている ZENworks プライマリサーバまでトラフィックを最小化できます。ロールアップされる情報には、デバイスインベントリ情報、メッセージ (エラー、警告、情報など)、およびポリシーとバンドルステータスが含まれます。デバイスが収集ポイントかどうかは管理者が制御します。

コレクションの役割情報を表示するには、以下の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[コレクション] をクリックします。

フィールド	説明
現在のステータス	収集ポイントとして機能するようにデバイスが現在環境設定されているかどうか表示します。
ポート	このデバイスの親の ZENworks サーバの URL を表示します。
親の URL	このデバイスの親の ZENworks サーバの URL を表示します。
コレクションスケジュール	収集したデータをコレクションデバイスとして使用するデバイスから、そのデータをロールアップする頻度を表示します。ZENworks 管理者はこのコレクションスケジュールを変更できます。

8.3 コンテンツ

ZENworks® Configuration Management は、配布元として指定された ZENworks Server またはその他の**デバイス**からの、バンドルおよびポリシーの配布をサポートします。デバイスが配布元かどうかは管理者が制御します。

8.3.1 配布元情報の表示

デバイスが配布元として使用される場合は、アクセスされた回数およびデバイスに保存されているコンテンツ (バンドルおよびポリシー) についての統計情報を表示できます。

- 1 通知領域にある **Z** アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[配布元] をクリックします。

フィールド	説明
現在のステータス	配布元モジュールのステータス。停止ステータスが表示されている場合、デバイスは現在、配布元として使用できません。
ポート	デバイスにより配布ポイント機能の実行に使用されるポート。
リポジトリファイル数	デバイスのリポジトリに保存されているバンドルとポリシーの数。
リポジトリサイズ	リポジトリで使用されるディスク容量。
固有のデバイスアクセス	デバイスのリポジトリからコンテンツにアクセスした異なるデバイスの数。この数は、前回 [履歴のクリア] オプションでこの数を 0 にリセットしてからの一意なアクセス数の合計を表します。
サージされるファイル数	他のデバイスに配信されたバンドルおよびポリシーファイルの数。この数は、前回 [履歴のクリア] オプションでこの数を 0 にリセットしてから転送されたファイル数の合計を表します。
サージされるファイル数	他のデバイスに配信されたデータの合計量。この量は、前回 [履歴のクリア] オプションでこの量を 0 にリセットしてから転送されたファイル数の合計を表します。
エラー数	ファイル転送中に発生したエラーの合計数。[エクスポート履歴] オプションをクリックすると、トランザクションをカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートして、エラーを調査するのに使用できます。
アクション	[エクスポート履歴] をクリックすると、[最近のアクセス履歴] リストの情報を CSV ファイルにエクスポートできます。[履歴のクリア] をクリックすると、リストの情報をクリアし、[固有のデバイスアクセス]、[転送されたファイルの数]、[転送されたデータ量]、および [エラー数] のフィールドを 0 にリセットできます。
最近のアクセス履歴	最後にリポジトリにアクセスした 10 個のデバイスのリスト。リストでは、最後にアクセスされた 10 個のみが表示されます。ただし、履歴を消去するまでは、エントリはすべて保存されています。エントリすべてを分析するには、[エクスポート履歴] をクリックして、CSV ファイルを作成します。
コンテンツリポジトリ詳細	リポジトリに保存されたバンドルおよびポリシーのリスト。

8.3.2 最近のアクセス履歴のエクスポート

[最近のアクセス履歴] には、最も最近リポジトリにアクセスした 10 個についての情報が表示されます。これには、アクセスを実行した **デバイス**、ダウンロードの実行数、転送されたデータ量、およびエラーが発生したかどうかについての情報が含まれます。

リストでは、最後にアクセスされた 10 個のみが表示されます。ただし、履歴を消去するまでは、エントリはすべて保存されています。エントリすべてを分析する場合は、履歴をカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートできます。

- 1 通知領域にある **Z** アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[コンテンツ] をクリックします。
- 3 [エクスポート履歴] をクリックして、CSV ファイルの場所と名前を指定してから、[保存] をクリックします。
- 4 履歴ファイルを表示するには、テキストエディタで開きます。

履歴ファイルには、配布元アクセス履歴および配布元エラー履歴という 2 つのセクションがあります。

配布元アクセス履歴 : [最近のアクセス履歴] リスト内の各トランザクションについてのエントリがあります。各エントリは、次のような形式です。

IP Address,DNS Name,Number of Files Transferred,Bytes Transferred,Number of Errors,Last Access (UTC)

たとえば次のように行います。

123.45.167.52,wks1.novell.com,3,544,0,3/20/2007 7:16:59 PM

配布元エラー履歴 : エラーを含む各トランザクションについてのエントリがあります。各エントリは、次のような形式です。

IP Address,DNS Name,Requested URI,Status Code,Access Time (UTC)

たとえば次のように行います。

123.45.167.53,wks2.novell.com,/app.msi,404,3/22/2007 9:11:33 AM

8.3.3 最近のアクセス履歴の消去

[最近のアクセス履歴] を消去して、リストのエントリすべてを削除し、[固有のデバイスアクセス]、[転送されたファイルの数]、[転送されたデータ量]、および [エラー数] のフィールドを 0 にリセットできます。


- 1 通知領域にある **Z** アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[コンテンツ] をクリックします。
- 3 [履歴のクリア] をクリックしてから、[はい] をクリックして、履歴の削除を確認します。

8.4 イメージング

現在のステータス、PXE サービスステータス、イメージファイル、およびイメージング統計など、デバイスのイメージングの役割プロパティを表示できます。ただし、このページのフィールドは編集できません。

ZENworks® 環境設定管理では、ZENworks 管理者はデバイスのイメージングの役割を有効にできます。この役割では、このデバイスをイメージングサーバとして使用して、イメージを取得し、ユニキャストまたはマルチキャストのイメージングの使用によりサブネット内またはサブネット間でイメージを適用するなど、すべてのイメージングオペレーションを実行できます。管理者が、デバイスにイメージングの役割があるかどうかを制御します。

コレクションの役割情報を表示するには、以下の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[イメージング] をクリックします。

フィールド	説明
現在のステータス	デバイスが現在、イメージング操作を実行するように環境設定されているかどうかを表示します。デバイスが、サテライトサーバにイメージングの役割を持つよう促される場合、現在のステータスはアクティブです。
PXE サービスステータス	プロキシ DHCP サービスがデバイスで有効になっているかどうか表示します。
イメージファイルの表示	%ZENWORKS_HOME%\work\content-repo\images ディレクトリに保存されているイメージファイルを表示します。
イメージング統計	次の情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none">◆ PXE 要求: イメージングサーバが前回起動されてからイメージングサーバが受信した各種イメージング要求の数。これには、失敗した要求、拒否された要求、および他のイメージングサーバを参照した要求の数も含まれています。ソース、タイプ、日時、結果などの各要求に関する情報は、イメージングサーバにログされます。◆ 送信したイメージ: イメージングサーバが前回起動されてから、イメージングサーバがイメージングクライアントに送信したイメージの数。この数に含まれるのは、このイメージングサーバから取得されたイメージのみです。◆ 受信したイメージ: イメージングサーバが前回起動されてから、イメージングサーバが受信して、保存した新しいイメージの数。これには、クライアント参照を通じて受信されたイメージが含まれます。

ZENworks® Adaptive Agent ヘルプでは、次の用語を使用しています。

バンドル：デバイスにソフトウェアをインストールするのに必要なコンテンツおよび指示。

コレクションの役割：管理対象のデバイスが、ZENworks Server、または配布元として指定されている他のデバイスから、バンドルとポリシーの配布を支援できるようにする役割。

コンテンツの役割：管理対象のデバイスが、デバイスのグループ用に情報のロールアップアクセスを向上させ、ZENworks データベースをホスティングする ZENworks プライマリサーバまでトラフィックを最小化するために実行できる役割。

デバイス：サーバまたはワークステーション。

デバイス割り当てバンドルまたはデバイス割り当てポリシー：デバイスのすべてのユーザが使用できる、デバイスに割り当てられたバンドルおよびポリシー。

配布元：バンドルおよびポリシーを他のデバイスに配信するために指定されたデバイス。

イメージングの役割：イメージングサービスをインストールし、イメージングの役割を管理対象のデバイスに追加する役割。この役割では、このデバイスをイメージングサーバとして使用して、イメージを取得し、ユニキャストまたはマルチキャストのイメージングの使用によりサブネット内またはサブネット間でイメージを適用するなど、すべてのイメージングオペレーションを実行できます。

インベントリ：デバイスのハードウェアとソフトウェアについてのデータ。

管理ゾーン：同じ管理ドメインに属するすべてのデバイスをグループ化したもの。

ポリシー：ハードウェアとソフトウェアの環境設定範囲を制御するルール。

プライマリユーザ：マシンを最も頻繁に使用するユーザ。頻度は、ログインの数、ログインしている時間数、または指定されているユーザによって決定されます。プライマリユーザの計算に使用する方法は管理者が決定します。

登録キー：管理者によって作成され、デバイスを管理ゾーンに登録するために ZENworks Adaptive Agent によって使用される英数文字列。


リモート管理：デバイスの問題を解決するために、リモートでデバイスにアクセスまたは制御する機能。使用可能なリモート管理操作は、リモートコントロール、リモートビュー、リモート診断、ファイル転送、およびリモート実行です。

サテライトの役割：サテライトの役割のある管理対象のデバイスは、ZENworks プライマリサーバで通常は実行される特定の役割を実行できます。管理対象のデバイス（サーバまたはワークステーション）は、サテライトの役割を実行できます。管理者がデバイスを構成する場合、管理者はデバイスで実行される役割を指定します。サテライトの役割で、ZENworks システムの WAN トラフィックを最小化できます。サテライトの役割には、コレクション、コンテンツ、およびイメージングがあります。

リモートオペレータ：リモートでデバイスにアクセスまたは制御するユーザ。

ユーザ割り当てバンドルまたはユーザ割り当てポリシー: ユーザに割り当てられたバンドルおよびポリシー。割り当てられたユーザがログインした場合にのみ使用可能です。

ZENworks Explorer: Windows エクスプローラ、デスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、および通知領域におけるバンドルの表示を可能とする Windows* エクスプローラ用の拡張機能。

ZENworks アイコン:  アイコンは、Windows 通知領域にあります。アイコンをダブルクリックすると、ZENworks Adaptive Agent のプロパティを表示できます。

ZENworks Window: [スタート] メニューから起動できるスタンドアロンウィンドウ ([スタート] メニュー > [プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks ウィンドウ])。ZENworks ウィンドウには、割り当てられたバンドルすべてが表示されます。

ZENworks Server: 管理ゾーンからの情報を送受信するために、ZENworks Adaptive Agent が接続するサーバ。

このセクションには、Novell® ZENworks® Adaptive Agent ユーザインタフェースのコンテキスト依存ヘルプが含まれます。

- ◆ 41 ページのセクション 10.1 「ステータス」
- ◆ 42 ページのセクション 10.2 「ポリシー」
- ◆ 43 ページのセクション 10.3 「バンドル」
- ◆ 44 ページのセクション 10.4 「インベントリ」
- ◆ 45 ページのセクション 10.5 「ロギング」
- ◆ 46 ページのセクション 10.6 「リモート管理 - セキュリティ」
- ◆ 48 ページのセクション 10.7 「リモート管理 - 一般」
- ◆ 49 ページのセクション 10.8 「リモート管理 - ポリシー」
- ◆ 49 ページのセクション 10.9 「バンドルプロパティ」
- ◆ 51 ページのセクション 10.10 「サテライト - 一般」
- ◆ 52 ページのセクション 10.11 「サテライト - コレクションの役割プロパティ」
- ◆ 52 ページのセクション 10.12 「サテライト - コンテンツの役割プロパティ」
- ◆ 54 ページのセクション 10.13 「サテライト - イメージング」

10.1 ステータス

[ステータス] ページには、ZENworks® Adaptive Agent が前回 ZENworks Server に接続した時間や、Agent モジュールが実行中であるかどうかなどの情報が表示されます。

10.1.1 ZENworks Adaptive Agent プロパティ

次のフィールドには、Adaptive Agent についての情報が表示されます。

- ◆ **デバイスアドレス** : デバイスの IP アドレス。
- ◆ **デバイス名** : デバイスのコンピュータ名。
- ◆ **デバイス状態** : デバイスの状態 : 管理対象、非管理対象、使用停止、または不明の状態。不明は、エラーがある場合のみ表示されます。
- ◆ **前回のサーバとの接続** : Adaptive Agent が前回 ZENworks Server に接続した時刻。
- ◆ **次のサーバとの接続** : Adaptive Agent が次に ZENworks Server に接続するようにスケジュールされている時間。
- ◆ **プライマリユーザ** : マシンを最も頻繁に使用するユーザ。頻度は、ログインの数、ログインしている時間数、または指定されているユーザによって決定されます。プライマリユーザの計算に使用する方法は管理者が決定します。

10.1.2 ZENworks Serve プロパティ

次のフィールドには、ZENworks Server についての情報が表示されます。

- ◆ **管理ゾーン** : ZENworks Server とデバイスが登録されている管理ドメインの名前。
- ◆ **サーバ DNS** : デバイスの Adaptive Agent が ZENworks のコンテンツと情報を送受信するために通信する ZENworks Server の DNS 名。
- ◆ **サーバアドレス** : [サーバDNS] フィールドに一覧にされる ZENworks Server の IP アドレス。

10.1.3 登録キー

登録キーは、デバイスを管理ゾーンに登録する際に入力する英数文字列。登録キーは管理者が定義し、バンドルとポリシーの割り当てを判断するのに役立ちます。

通常は、登録キーを追加する必要はありません。管理者が登録を求める場合は、次のことに留意してください。

- ◆ 登録キーは累積されます。つまり、デバイスが 1 つのキーで登録されてから、別のキーでも登録されると、デバイスはその両方のキーのデバイスグループに関連付けられたバンドルとポリシーの割り当てをすべて受け取ります。
- ◆ [登録キー] フィールドに入力されたキーは、[登録] をクリックしたときに使用するキーです。フィールドの下にあるリストに含まれるキーは参照用のみです。デバイスはすでにこれらのキーに関連付けられたバンドルとポリシーにすでに割り当てられています。

10.1.4 エージェントステータス

Agent モジュールのステータスが表示されます。表示される可能性があるステータスエントリは、[稼働中] および [使用不可] などです。

10.1.5 追加情報


ZENworks® Adaptive Agent ヘルプファイルをすべて表示するには、[ここ](#)をクリックします。

10.2 ポリシー

ポリシーは、ハードウェアとソフトウェアの設定範囲を制御するルールです。たとえば、管理者は、使用できる機能、ブラウザで使用可能なブックマーク、アクセスできるプリンタ、および**デバイス**のセキュリティとシステム設定を制御するポリシーを作成できます。

[ポリシー] ページで、ユーザおよびデバイスに割り当てられたポリシーを表示できます。管理者によって適用されたポリシーをユーザが変更することはできませんが、ユーザ割り当てポリシーとデバイス割り当てポリシーの違い、および適用されているポリシーの確認方法を理解しておくに役立ちます。

10.2.1 ユーザ割り当てポリシー

ZENworks® Adaptive Agent は、ユーザディレクトリ (Microsoft* Active Directory* または Novell® eDirectory™) にログインしている場合にのみ、ユーザ割り当てポリシーを適用します。ログインしていない場合は、[ZENworks Configuration Management] ログインページでログインできます。ログインするには、通知領域にある  アイコンを右クリックしてから、[ログイン] をクリックします。

10.2.2 デバイス割り当てポリシー

Adaptive Agent は、ログインしているかどうかにかかわらず常にデバイス割り当てポリシーを適用します。したがって、デバイス割り当てポリシーはデバイスのすべてのユーザに適用されます。

10.2.3 追加情報


ZENworks Adaptive Agent ヘルプファイルをすべて表示するには、[ここ](#)をクリックします。

10.3 バンドル


ソフトウェアアプリケーションとその他のファイルは、バンドルとして **デバイス** に配布されます。バンドルには、デバイスにソフトウェアをインストールするために必要なすべてのコンテンツ (ファイルなど) および指示 (レジストリ変更、ショートカット情報など) が含まれます。

[バンドル] ページで、ユーザおよびデバイスに割り当てられたバンドルを表示できます。ユーザに割り当てられるバンドルは、ユーザ割り当てバンドルと呼ばれ、デバイスに割り当てられたバンドルは、デバイス割り当てバンドルと呼ばれます。

10.3.1 ユーザ割り当てバンドル

Zenworks® Adaptive Agent は、ユーザディレクトリ (Microsoft* Active Directory* または Novell® eDirectory™) にログインしている場合にのみ、ユーザ割り当てバンドルを表示します。ログインしていない場合は、[ZENworks Configuration Management] ログインページでログインできます。ログインするには、通知領域にある  アイコンを右クリックしてから、[ログイン] をクリックします。

[ユーザ割り当てバンドル] リストには、各バンドルについての次の情報が表示されます。


- **[名前]** : バンドルの名前が表示されます。名前をクリックすると、バージョン、フォルダとアイコンの場所、およびヘルプ連絡先などのバンドルのプロパティを表示できます。
- **[ステータス]** : バンドルのインストールステータスが表示されます。
- **[有効]** : バンドルがデバイスで使用できるかどうかを表示します。[有効] ボックスがオンになっている場合、バンドルはすべてのシステム要件と使用されるスケジュール制約を満たしています。バンドルアイコン  をクリックして、バンドルを起動できます。

このボックスが選択されていない場合、バンドルは使用できません。理由を確認するには、バンドル名をクリックして、システム要件とスケジュールのプロパティを表示します。

10.3.2 デバイス割り当てバンドル

デバイス割り当てバンドルは、ログインしているかどうかにかかわらず常に表示されます。デバイス割り当てバンドルは、デバイスを使用するユーザなら誰でも起動できます。

[デバイス割り当てバンドル] リストには、各バンドルについての次の情報が表示されます。

- **[名前]** : バンドルの名前が表示されます。名前をクリックすると、バージョン、フォルダとアイコンの場所、およびヘルプ連絡先などのバンドルのプロパティを表示できます。
- **[ステータス]** : バンドルのインストールステータスが表示されます。
- **[有効]** : バンドルがデバイスで使用できるかどうかを表示します。[有効] ボックスがオンになっている場合、バンドルはすべてのシステム要件と使用されるスケジュール制約を満たしています。バンドルアイコンをクリックして、バンドルを起動できます。

このボックスが選択されていない場合、バンドルは使用できません。理由を確認するには、バンドル名をクリックして、システム要件とスケジュールのプロパティを表示します。

10.3.3 追加情報

ZENworks Adaptive Agent ヘルプファイルをすべて表示するには、[ここ](#)をクリックします。

10.4 インベントリ

ZENworks[®] Adaptive Agent は、管理者が設定した定期的なスケジュールで、ソフトウェアとハードウェアの情報について**デバイス**をスキャンします。

[インベントリ] ページを使用して、アセットタグ番号、IP アドレス、合計メモリ、およびディスク空き容量などのデバイスの詳細を素早く検索できます。ハードドライブ、ディスクドライブ、ビデオカードの製造元やモデルなどのハードウェアの詳細を表示できます。また、インストール済み Windows* ホットフィックスとパッチ、およびインストール済みソフトウェア製品のバージョン番号と場所などのソフトウェアの詳細も表示できます。

10.4.1 スキャンスケジュール

Zenworks Adaptive Agent がデバイスをスキャンするスケジュールされた日付と時間。スキャンスケジュールは、管理者が設定します。

10.4.2 今すぐスキャン

[今すぐスキャン] をクリックすると、デバイスのスキャンを手動で開始できます。このオプションは、管理者が設定するために、使用できない場合があります。

10.4.3 次のスキャン

次にスケジュールされているスキャンの日付と時間。

10.4.4 前回のスキャン

前回スキャンが実行された日付と時間。

10.4.5 前回のアップロード

ZENworks Adaptive Agent がインベントリデータを ZENworks Server に前回転送した日付と時間であり、管理者は ZENworks コントロールセンターで参照できます。

10.4.6 インベントリサマリ

デバイスについて選択した詳細。さらに完全な詳細は、[インベントリの詳細を表示] をクリックすると参照できます。

10.4.7 インベントリ詳細を表示

[インベントリ詳細を表示] をクリックすると、ハードドライブ、ディスクドライブ、ビデオカードの製造元やモデルなどのハードウェアの詳細を確認できます。

また、インストール済み Windows ホットフィックスとパッチ、およびインストール済みソフトウェア製品のバージョン番号と場所などのソフトウェアの詳細も表示できます。

10.4.8 追加情報

ZENworks Adaptive Agent ヘルプファイルをすべて表示するには、[ここ](#)をクリックします。

10.5 ロギング

デバイスでタスクを実行中に、ZENworks[®] Adaptive Agent によってメッセージが生成され、アクティビティが追跡されます。各メッセージには、情報、警告、エラー、またはデバッグという重要度レベルが割り当てられます。

[ロギング] ページには、ログファイルの場所が表示され、このページを使用して、どのレベルのメッセージをファイルにログするかを決定できます。

10.5.1 メッセージログ

次のフィールドには、メッセージログについての情報が表示されます。

- ◆ **ログファイルの場所**: ローカルログファイルの名前と場所。ログファイル zmd-messages.log は、システムドライブのルートにある program files\novell\zenworks\logs\localstore ディレクトリに保存されます (例: c:\program files\novell\zenworks\logs\local-store\zmd-messages.log)。このファイルはテキストエディタで表示できます。
- ◆ バックアップログファイルは、同じディレクトリに番号が増分された ZIP ファイル (例: zmd-messages.log.1.zip および zmd-messages.log.2.zip) として保存されます。

- ◆ **管理対象 :level:** ログの重要度レベルを ZENworks ゾーンで管理者によって定義されたレベルに設定します。ここで、*level* は、レベル (情報、警告、エラー、およびデバッグ) を意味します。
- ◆ **重要度が次の場合にメッセージをログ記録:** どのメッセージをログファイルに保存するかを決定します。重要度レベルは、次のとおりです。
 - ◆ **管理対象 :level:** ログの重要度レベルを ZENworks ゾーンで管理者によって定義されたレベルに設定します。ここで、*level* は、レベル (情報、警告、エラー、およびデバッグ) を意味します。
 - ◆ **エラー:** エラーメッセージのみをログします。エラーメッセージは、Adaptive Agent が要求されたタスクを実行できない場合に生成されます。
 - ◆ **警告とそれ以上:** 警告およびエラーメッセージをログします。警告メッセージは、タスクが失敗する可能性のある問題が Adaptive Agent で発生した場合に生成されます。
 - ◆ **情報とそれ以上:** 情報、警告、およびエラーメッセージをログします。情報メッセージは、通常のプロセスが実行中であることを示すために Adaptive Agent がタスクを実行する場合常に生成されます。
 - ◆ **デバッグ:** 使用可能メッセージをすべてログして、問題のデバッグ追跡を有効にします。このレベルを選択すると、ログファイルのサイズが大きく増えるため、管理者の指示があった場合にのみ使用するようになっています。

10.5.2 ログコレクションサーバ

次のフィールドには、ログファイルを収集する ZENworks Server についての情報が提供され、管理者の参照用にログメッセージを ZENworks コントロールセンターに表示できます。

- ◆ **サーバ URL:** ログ情報を収集する ZENworks Server の URL を指定します。
- ◆ **次のログ転送:** ログファイルが次にコレクションサーバにロールアップされる日付と時間を指定します。

10.5.3 追加情報

ZENworks Adaptive Agent ヘルプファイルをすべて表示するには、[ここ](#)をクリックします。

10.6 リモート管理 - セキュリティ

[セキュリティ] ページには、リモート管理操作中の **デバイス** のセキュリティを確保するためのオプションが提供されています。

セキュリティ設定は管理者によって制御され、使用できない場合があります。

10.6.1 パスワードの設定

パスワードを設定できるのは、[ユーザに管理対象デバイスでのパスワード設定を許可] オプションが管理対象デバイスで有効にされている場合だけです。パスワードは2種類あります。

- ◆ **ZENworks® パスワード**: このパスワードは、ZENworks パスワードベース認証で使用されます。パスワードの長さは最大 255 文字です。
- ◆ **VNC のパスワード**: このパスワードは、VNC パスワードベース認証で使用されます。パスワードの長さは最大 8 文字です。

VNC パスワードベース認証より安全であるため、ZENworks パスワード認証が推奨されます。VNC パスワードベース認証は、オープンソース VNC ビューアとの相互運用性のために使用します。

10.6.2 [パスワードをクリア]

選択したパスワードをクリアします。

10.6.3 侵入者検出によって現在ブロックされている場合は、接続の受諾を許可します

リモートオペレータのログインの試みが一定回数 (デフォルトでは 5 回) 失敗した場合、リモート接続は無効になります。一定の時間 (デフォルトでは 10 分) が経過すると接続は自動的に許可されますが、このオプションをクリックして、手動で接続を有効にすることができます。

10.6.4 監査情報の表示

デバイスで実行されたリモート操作に関する次の情報を表示します。

フィールド	説明
ZENworks ユーザ	リモート操作が実行されたときに、ログインしていた ZENworks® ユーザの名前です。
リモートオペレータ	操作を実行したリモートオペレータの名前です。
コンソールマシン	リモート操作の実行元デバイスの名前です。
コンソール IP	リモート操作の実行元デバイスの IP アドレスです。
操作	実行された操作のタイプ (リモートコントロール、リモート実行、リモートビュー、リモート診断、ファイル転送、またはセキュリティ) です。
開始時刻	リモート操作の開始時刻です。
終了時刻	リモート操作の終了時刻です。
ステータス	リモート操作のステータス (成功、実行中、または失敗) です。

10.6.5 指紋の表示

デバイスの自己署名付き証明書の指紋を表示します。デバイスでリモート操作を実行する前に、デバイスの資格情報を検証するために、リモートオペレータから指紋を求められることがあります。

10.6.6 追加情報

ZENworks® Adaptive Agent ヘルプファイルをすべて表示するには、[ここ](#)をクリックします。

10.7 リモート管理 - 一般

[一般] ページを使用すると、リモート管理モジュールのバージョンおよびステータス情報を表示できます。現在接続されているリモートオペレータの一覧を表示し、オペレータとのリモートセッションを要求することもできます。

10.7.1 ステータス

リモート管理がデバイスで現在有効であるか無効であるかを表示します。有効である場合、リモート管理サービスが実行されているポートにステータスが表示されます。

10.7.2 バージョン

リモート管理モジュールの現在のバージョンが表示されます。

10.7.3 最適化

リモート管理に対して、最適化が有効であるか無効であるかを表示します。デバイスのビデオカードが、リモート管理モジュールと共にインストールされたパフォーマンス強化ドライバと互換性がある場合、リモート管理モジュールのパフォーマンスが最適化されます。

10.7.4 リモート管理セッションの要求

有効なリモート管理ポリシーに設定されているリモートオペレータに、対象デバイスでリモートセッションを実行するように要求できます。また、ホスト名やポートなど、リモート管理セッションに必要なリモートオペレータの詳細を入力することもできます。

10.7.5 接続されているリモートオペレータのリスト

接続されているリモートオペレータ、IP アドレス、操作、セッション開始時間およびセッション期間のリストを表示します。

10.7.6 追加情報

ZENworks® Adaptive Agent ヘルプファイルをすべて表示するには、[ここ](#)をクリックします。

10.8 リモート管理 - ポリシー

[ポリシー] ページには、**デバイス**に対して現在有効であるリモート管理ポリシーの設定が表示されます。ユーザはポリシーの設定を変更できません。ZENworks® 管理者のみがZENworks コントロールセンターで変更することができます。

ポリシーカテゴリ ([一般]、[リモートコントロール]、[リモートビュー]、[リモート実行]、[ファイル転送]、[リモート診断]、[セキュリティ]) をクリックして、そのカテゴリの設定を表示します。各設定の説明については、ZENworks 10 Configuration Management マニュアルの Web サイト (<http://www.novell.com/documentation/zcm10>) のポリシー管理ガイドを参照してください。

ZENworks Adaptive Agent ヘルプファイルをすべて表示するには、**ここ**をクリックします。

10.9 バンドルプロパティ

[プロパティ] ページには、バンドルに関する情報が提供されています。



10.9.1 一般

次の情報を表示します。

- ◆ **ゾーン** : デバイスおよびバンドルが配置されている管理ゾーンです。
- ◆ **GUID** : バンドルに割り当てられるグローバル固有識別子です。バンドルの名前が変更されても、識別子は常に同じです。
- ◆ **バージョン** : バンドルのバージョンです。バージョン 0 以降が有効なバージョン番号です。
- ◆ **フォルダ** : バンドルが常駐しているフォルダです。このフォルダ構造は、ZENworks® Window、ZENworks Explorer、および [スタート] メニューに表示されます。
- ◆ **説明** : 管理者が入力したバンドルに関する情報です。

10.9.2 ステータス

次の情報を表示します。

- ◆ **割り当て** : バンドルがデバイスまたはログインユーザに割り当てられているかどうかが表示されます。
- ◆ **ステータス** 現在のステータスです。以下の表は、デフォルトのライトブルーのバックグラウンドアイコンを使用するバンドルアイコンを示しています。管理者が異なるバックグラウンドアイコンを使用することを選択する可能性もありますが、およびなどのステータスアイコンは同じです。

アイコン ステータス



使用可能。バンドルを起動できます。



使用不可。バンドルを起動できません。デバイスがバンドルに設定されたシステム要件を満たしていないか、バンドルが現在使用できるようにスケジュールされていません。



ダウンロード中。バンドルが保存されているネットワークの場所からバンドルをダウンロード中です。



インストール中。バンドルをデバイスにインストール中です。



稼動中。バンドルは現在稼働中です。



アンインストール中。バンドルをデバイスから削除中です。



インストールされていません。バンドルをインストールできませんでした。アイコンを右クリックして、[検証] をクリックしてバンドルを修復します。

- ◆ **ロケーション:** バンドルアイコンが表示される場所 (デスクトップ、[クイック起動] ツールバー、[スタート] メニュー、システムトレイ / 通知領域、ZENworks ウィンドウ) です。

10.9.3 ヘルプ連絡先

バンドルに関するヘルプを受けるために連絡できる人の名前、電話番号、および電子メールアドレスを表示します。

10.9.4 システム要件

[システム要件] タブは、バンドルが ZENworks 管理者が設定した要件の 1 つまたは複数を満たしていない場合のみ表示されます。

システム要件ツリーには、デバイスが満たしていないバンドル要件が表示されます。バンドルは要件が満たされるか変更されるまで、デバイスには配布されません。

10.9.5 タイムスケジュール

[タイムスケジュール] タブは、ZENworks 管理者がバンドルの可用性スケジュールを作成している場合のみ表示されます。可用性スケジュールにより、バンドルを使用できる日付と時間が決まります。

10.9.6 追加情報

ZENworks Adaptive Agent ヘルプファイルをすべて表示するには、[ここ](#)をクリックします。

10.10 サテライト - 一般

[一般] ページでは、現在のステータス、ポート、コンテンツレプリケーションスケジュール、およびサテライトの役割ステータスなど、デバイスの一般的なプロパティを表示できます。

ZENworks® 管理者がこのデバイスでサテライトの役割が実行されるよう指定した場合、このページの情報によりデバイスの一般情報を表示できますが、このページのフィールドは編集できません。

サテライトの役割のある管理対象のデバイスは、ZENworks プライマリサーバで通常は実行される特定の役割を実行できます。管理対象のデバイス (サーバまたはワークステーション) は、サテライトの役割を実行できます。管理者がデバイスを構成する場合、管理者はデバイスで実行される役割を指定します。サテライトの役割で、ZENworks システムの WAN トラフィックを最小化できます。

サテライトの役割を持つデバイスでは次の役割が実行されます。

- ◆ **コレクション** : デバイスのグループ用に情報のロールアップアクセスを向上させ、ZENworks データベースをホスティングしている ZENworks プライマリサーバまでトラフィックを最小化するには、ZENworks 管理者はデバイスのコレクションの役割を有効にし、デバイスを収集ポイントとして指定できます。
- ◆ **コンテンツ** : ZENworks Configuration Management は、配布元として指定された ZENworks Server またはその他のデバイスからの、バンドルおよびポリシーの配布をサポートします。デバイスが配布元かどうかは管理者が制御します。
- ◆ **イメージング** : イメージングの役割は、イメージングサービスをインストールし、そのイメージングの役割をデバイスに追加します。この役割では、このデバイスをイメージングサーバとして使用して、イメージを取得し、ユニキャストまたはマルチキャストのイメージングの使用によりサブネット内またはサブネット間でイメージを適用するなど、すべてのイメージングオペレーションを実行できます。管理者が、デバイスにイメージングの役割があるかどうかを制御します。

10.10.1 現在のステータス

デバイスが現在、サテライトの役割を実行するように環境設定されているかどうか表示します。

10.10.2 ポート

デバイスが使用中のポートを表示します。

10.10.3 コンテンツレプリケーションスケジュール

デバイスのコンテンツが親のプライマリサーバから更新される頻度を表示します。デフォルトでは、コンテンツ役割デバイスはコンテンツで新しいものまたは削除されたものがなにか 5 分ごとに確認します。ZENworks 管理者はこのスケジュールを変更できます。たとえば、ZENworks システムがコンテンツをシステムにあまり頻繁に追加しないか、またはコンテンツ役割デバイスと、親のプライマリサーバ間の接続に時間がかかる場合、管理者はサイクル間の時間を長くすることもできます。

10.10.4 サテライトの役割ステータス

デバイスが実行中の役割 (コレクション、コンテンツ、およびイメージング)、およびその現在のステータス (アクティブまたは停止) を表示します。

10.11 サテライト - コレクションの役割プロパティ

現在のステータス、親の URL、およびコレクションスケジュールなど、デバイスの収集ポイントプロパティを表示できますが、このページのフィールドを編集できません。

ZENworks® 環境設定管理では、ZENworks 管理者はデバイス上のコレクションの役割を有効にできます。これにより、デバイスのグループ用に情報のロールアップアクセスを向上させ、ZENworks データベースをホスティングしている ZENworks プライマリサーバまでトラフィックを最小化できます。ロールアップされる情報には、デバイスインベントリ情報、メッセージ (エラー、警告、情報など)、およびポリシーとバンドルステータスが含まれます。デバイスが収集ポイントかどうかは管理者が制御します。

10.11.1 現在のステータス

収集ポイントとして機能するようにデバイスが現在環境設定されているかどうか表示します。

10.11.2 親の URL

このデバイスの親の ZENworks サーバの URL を表示します。

10.11.3 コレクションスケジュール

収集したデータをコレクションデバイスとして使用するデバイスから、そのデータをロールアップする頻度を表示します。ZENworks 管理者はこのコレクションスケジュールを変更できます。

10.12 サテライト - コンテンツの役割プロパティ

ZENworks® Configuration Management は、配布元として指定された ZENworks Server またはその他の **デバイス** からの、バンドルおよびポリシーの配布をサポートします。デバイスが配布元かどうかは管理者が制御します。

デバイスが配布元として使用される場合は、アクセスされた回数およびデバイスに保存されているコンテンツ (バンドルおよびポリシー) についての統計情報を表示できます。

10.12.1 現在のステータス

配布元モジュールのステータス。[停止] ステータスが表示されている場合、デバイスは現在、配布元として使用できません。

10.12.2 ポート

配布ポイントモジュールにより使用されるポート。

10.12.3 リポジトリファイル数

デバイスのリポジトリに保存されているバンドルとポリシーの数。

10.12.4 リポジトリサイズ

リポジトリで使用するディスク容量。

10.12.5 固有のデバイスアクセス

デバイスのリポジトリからコンテンツにアクセスした異なるデバイスの数。この数は、前回 [履歴のクリア] オプションでこの数を 0 にリセットしてからの一意なアクセス数の合計を表します。

10.12.6 [サブされるファイル数]

他のデバイスに配信されたバンドルおよびポリシーファイルの数。この数は、前回 [履歴のクリア] オプションでこの数を 0 にリセットしてから転送されたファイル数の合計を表します。

10.12.7 [サブされるデータのサイズ]

他のデバイスに配信されたデータの合計量。この量は、前回 [履歴のクリア] オプションで量を 0 にリセットしてから転送されたデータ量の合計を表します。

10.12.8 エラー数

ファイル転送中に発生したエラーの合計数。[エクスポート履歴] オプションをクリックすると、トランザクションを CSV ファイルにエクスポートして、エラーを調査するために使用できます。

10.12.9 アクション

[エクスポート履歴] をクリックすると、[最近のアクセス履歴] リストの情報を CSV ファイルにエクスポートできます。[履歴のクリア] をクリックすると、リストの情報をクリアし、[固有のデバイスアクセス]、[転送されたファイルの数]、[転送されたデータ量]、および [エラー数] のフィールドを 0 にリセットできます。

10.12.10 最近のアクセス履歴

最後にリポジトリにアクセスした 10 個のデバイスのリスト。リストでは、最後にアクセスされた 10 個のみが表示されます。ただし、履歴を消去するまでは、エントリはすべて保存されています。**履歴をエクスポート**すると、保存されたエントリをすべて表示できます。

10.12.11 コンテンツリポジトリ詳細

リポジトリに保存されたバンドルおよびポリシーのリスト。

10.12.12 追加情報

ZENworks Adaptive Agent ヘルプファイルをすべて表示するには、**ここ**をクリックします。

10.13 サテライト - イメージング

現在のステータス、PXE サービスステータス、イメージファイル、およびイメージング統計など、デバイスのイメージングの役割プロパティを表示できます。ただし、このページのフィールドは編集できません。

ZENworks® 環境設定管理では、ZENworks 管理者はデバイスのイメージングの役割を有効にできます。この役割では、このデバイスをイメージングサーバとして使用して、イメージを取得し、ユニキャストまたはマルチキャストのイメージングの使用によりサブネット内またはサブネット間でイメージを適用するなど、すべてのイメージングオペレーションを実行できます。管理者が、デバイスにイメージングの役割があるかどうかを制御します。

10.13.1 現在のステータス

デバイスが現在、イメージング操作を実行するように環境設定されているかどうか表示します。デバイスが、サテライトサーバにイメージングの役割を持つよう促される場合、現在のステータスはアクティブです。

10.13.2 PXE サービスステータス

プロキシ DHCP サービスがデバイスで有効になっているかどうか表示します。

10.13.3 イメージファイルの表示

%ZENWORKS_HOME%\work\content-repo\images ディレクトリに保存されているイメージファイルを表示します。

10.13.4 イメージング統計

次の情報を表示します。

- **PXE 要求** : イメージングサーバが前回起動されてからイメージングサーバが受信した各種イメージング要求の数。これには、失敗した要求、拒否された要求、および他のイメージングサーバを参照した要求の数も含まれています。ソース、タイプ、日時、結果などの各要求に関する情報は、イメージングサーバにログされます。
- **送信したイメージ** : イメージングサーバが前回起動されてから、イメージングサーバがイメージングクライアントに送信したイメージの数。この数に含まれるのは、このイメージングサーバから取得されたイメージのみです。
- **受信したイメージ** : イメージングサーバが前回起動されてから、イメージングサーバが受信して、保存した新しいイメージの数。これには、クライアント参照を通じて受信されたイメージが含まれます。